

# 平成26年度 財政状況

この「財政特集」は、市民の皆さんに「尾道市の家計簿」に相当する財政状況を公表することで尾道市の現状を知っていただき、これからの市政の推進にご理解とご協力をお願いするものです。

前半では平成26年度一般会計・特別会計決算(見込み)を、後半では平成26年度企業会計決算(見込み)をお知らせします。

※各項目の金額・構成比は表示単位未満の端数を四捨五入しているため、合計値に合致しない場合があります。  
 財務課(☎0848-38-9323)

## 一般会計決算(見込み)

福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計です。

### 【市税】

歳入全体の約3分の1を占め、歳入の根幹を成しています。個人市民税・法人市民税の減などで、前年度より減少しました。

### 【その他】

分担金、負担金、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

### 【地方交付税】

自治体の財政力に応じて国から交付されるもので、尾道市では、市税収入に次ぐ財源となっています。

### 【国庫支出金・県支出金】

特定の事業目的のために国や県から交付される財源です。国庫支出金は臨時福祉給付金給付事業費補助金・子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金や学校施設環境改善交付金の増などで、前年度より増加しました。

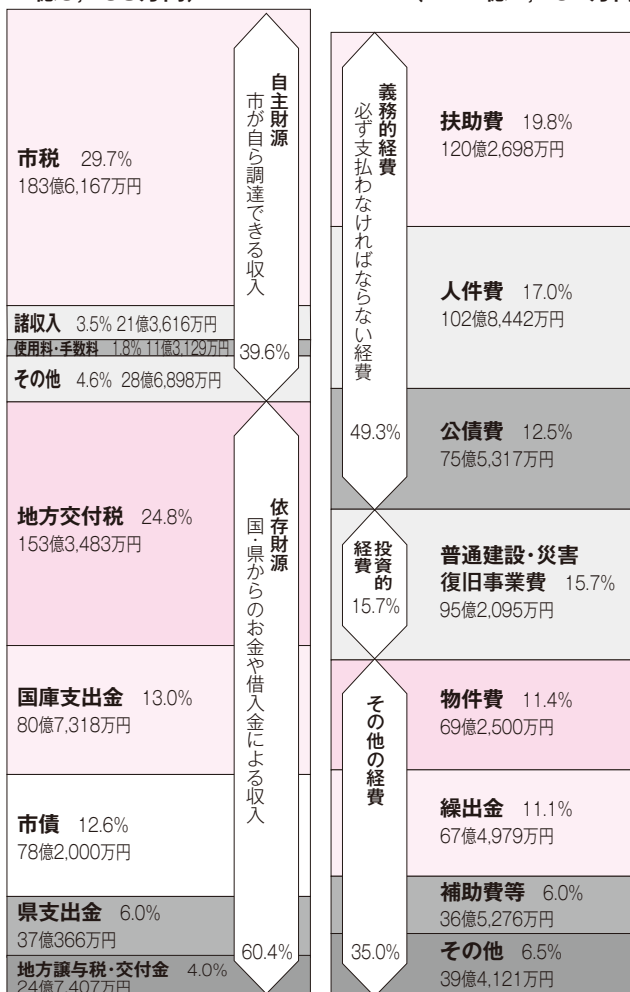
### 【市債】

主に建設事業のために国や金融機関から借り入れる資金です。小学校校舎建設に伴う増などで、前年度より増加しました。

### 【地方譲与税・交付金】

国税税として集められた税金の一部を分配されるもので、自動車重量譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金などがあります。

**歳入** 619億384万円 (+11億5,258万円)  
**歳入-歳出** 12億4,956万円 (-5,909万円)  
**歳出** 606億5,428万円 (+12億1,167万円)



実質の黒字額は、平成27年度に繰り越した事業に充てる財源4億3,901万円を除いた8億1,055万円(-1億3,727万円)です。

※( )内は、前年度比

### 【扶助費】

臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、私立保育園運営委託料の増などで、前年度より増加しました。

### 【人件費】

給与特例減額の復元や人事院勧告による期末勤勉手当の増などで、前年度より増加しました。

### 【公債費】

償還終了などにより、前年度より減少しました。

### 【普通建設事業費】

小学校建設事業費、消防救急無線デジタル化事業費、クロスロードみつぎ整備事業費の増などで、前年度より増加しました。

### 【補助費等】

瀬戸田診療所管理運営基金廃止に伴う尾道市民病院への負担金の減などで、前年度より減少しました。

### 【その他】

維持修繕費、投資・出資・貸付金、積立金

## 市民の負担とサービスの状況

市民1人当たりの市税負担額



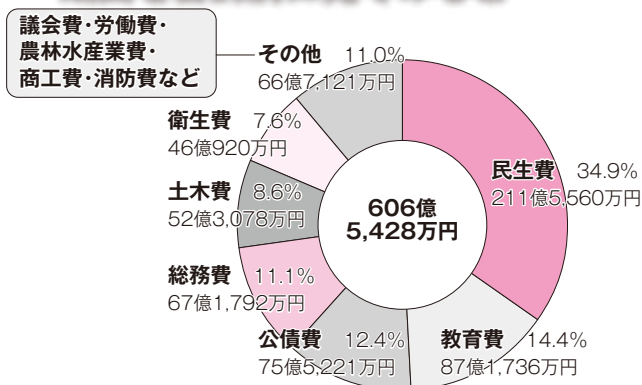
市民1人当たりのサービス額



市税のほかに国や県からの補助金などを活用して、行政サービスを実施しました。

※平成27年3月末住民基本台帳人口142,915人で計算。

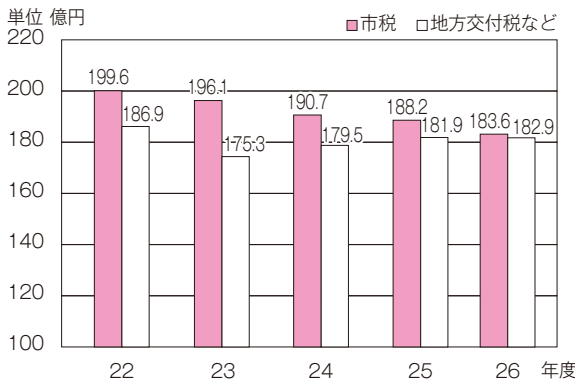
## 歳出を目的別に見てみると...



# 私たちのまち“尾道”の財政状況をくわしく見てみましょう

※普通会計の数値で作成しています。

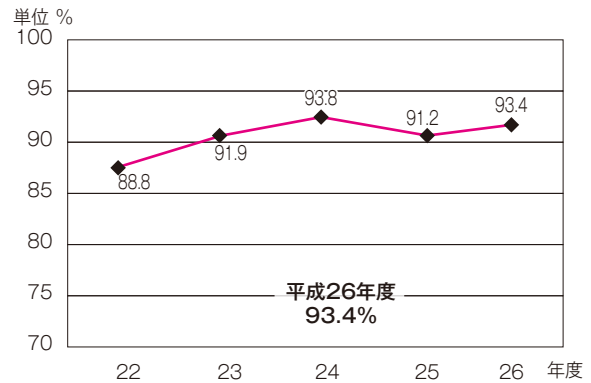
## 市税と地方交付税の推移



平成26年度  
市税 183億6,167万円  
地方交付税など 182億8,543万円

市税収入は減少し、地方交付税など(実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの)は増加しました。

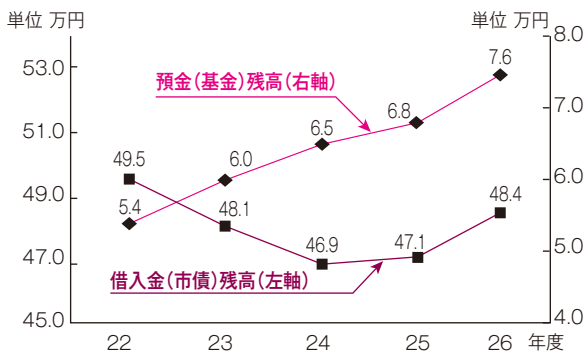
## 経常収支比率の推移



家計でいえば、毎月得られる給料などのうち、食費・光熱水費・ローンの返済など毎月決まって支払う生活費が占める割合のことです。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬直化していることを表します。

平成26年度は93.4%となり、前年度より2.2ポイント悪化しました。

## 市民1人当たりの預金と借入金

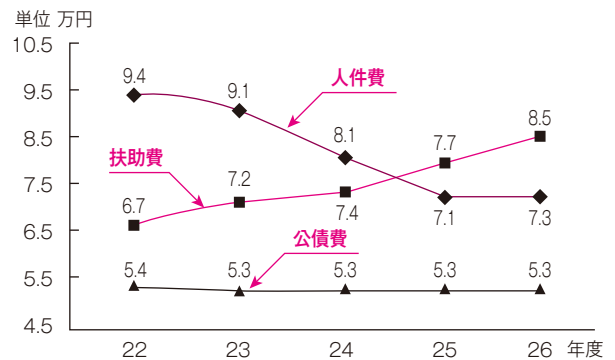


平成26年度末現在  
基金残高 108億6,931万円  
財政調整基金 47億1,112万円  
減債基金 14億5,357万円  
その他特定目的基金 47億4,627万円

平成26年度末現在  
市債残高 691億3,865万円

借入金(市債の発行)を抑制することにより、市債残高は減少しつつありますが、建設事業費の増加による借入により、平成26年度末市債残高は増加しています。市民1人当たりの金額に換算すると、平成26年度決算では、前年度比1万3千円増の48万4千円となっています。一方、預金にあたる基金現在高は、前年度比8千円増の7万6千円となっています。

## 市民1人当たりの義務的経費支出状況



支出の状況について、義務的経費である人件費、扶助費、公債費についてみると、減少傾向にあった人件費は、給与特例減額の復元などにより増加しており、借入金の返済に充てる公債費は減少傾向にありますが、自立支援給付費、生活保護費などの扶助費については増加傾向にあり、今後も増加することが見込まれます。

将来に向けて安定した財政運営を行うため、引き続き市税などの自主財源を増やす努力をしながら、義務的経費など経常的に必要な経費の削減に取り組み、ニーズにあった行政サービスを提供できる健全な財政運営を進めていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

※各年度末住民基本台帳人口を算定基礎としています。

## 用語解説

### 普通会計

他市との財政比較を行うための統計上の会計  
尾道市では、一般会計に港湾事業特別会計、夜間診療所事業特別会計、救護施設事業特別会計を合わせたもの

### 財政調整基金

将来の財政の健全な運営に役立てるために積み立てられる預金

### 減債基金

将来の市債償還に充てるために積み立てられる預金

### 特定目的基金

特定の事業に使うために積み立てられる預金  
尾道市では、地域福祉基金、教育文化基金、土地開発基金など

### 臨時財政対策債

国税収入が減少し、普通交付税を配分する財源が不足した場合、その不足分を補うために発行する市債

### 人件費

職員の給料・手当・共済費や特別職の報酬などの経費

### 扶助費

生活困窮者、児童、高齢者、心身障害者などに対する福祉の経費

### 公債費

長期の借金の返済金や短期(1年以内)の借入金の利子

### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費の総称、必ず支出しなければならない経費

# 平成26年度の主な事業

## 多様な交流の輪が広がるまち

瀬戸内しまのわ2014開催負担  
980万円



瀬戸内水軍まつり in 尾道  
ブルーインパルス展示飛行

## 活力あふれる産業が育つまち

おのみちサテライトオフィス誘致事業  
1,000万円



## 尾道の持つ感性の豊かさが誇りになるまち

囲碁のまちづくり推進事業  
908万円



第39期棋聖戦

## 心豊かに育ち、学び高めあうまち

因島南小学校建設事業  
13億4,028万円



## 暮らしの安全性と快適性が高いまち

離島航路船舶建造事業  
2億8,138万円



ももかぜ  
白風

## 子育てや長寿を楽しみ、誰もが幸せに暮らせるまち

友愛保育園・愛育保育園整備補助  
1億2,048万円



友愛保育園

## 都市計画事業に要する経費と都市計画税

(単位:千円、%)

都市計画税は、都市計画事業(街路、公園、下水道、区画整理など)の費用に充てるため負担していただく税金です。

平成26年度は、街路、下水道などの事業と、都市計画事業のために借り入れた地方債の償還に充てられました。

事業に充当された一般財源に占める都市計画税の割合は、83.2%となっています。

年度	都市計画事業費	地方債償還額	計	充当一般財源A	うち都市計画税B	充当率B/A
24	1,072,880	742,985	1,815,865	1,600,333	1,236,657	77.3
25	1,114,524	719,635	1,834,159	1,539,076	1,227,861	79.8
26	851,733	676,704	1,528,437	1,470,276	1,223,678	83.2

## 特別会計決算(見込み)

特定の事業を行い、一般会計と財布を分けることで収支をはっきりさせる会計です。

区分	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	2億993万円	2億78万円	915万円
国民健康保険事業	180億864万円	177億6,640万円	2億4,224万円
千光寺山索道事業	4,364万円	4,364万円	0円
駐車場事業	1億3,401万円	1億3,401万円	0円
夜間救急診療所事業	6,712万円	6,712万円	0円
公共下水道事業	21億1,088万円	21億1,088万円	0円
介護保険事業(保険事業勘定)	159億1,424万円	157億9,749万円	1億1,675万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1,733万円	1,726万円	7万円
漁業集落排水事業	1,919万円	1,919万円	0円
救護施設事業	2億6,653万円	2億6,653万円	0円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,092万円	1億8,092万円	0円
農業集落排水事業	3,459万円	3,459万円	0円
渡船事業	3,418万円	3,418万円	0円
後期高齢者医療事業	20億5,149万円	20億992万円	4,157万円
合計	390億9,269万円	386億8,291万円	4億978万円



# 企業会計決算(見込み)

事業で得られる収入で支出をまかなう会計です。  
水道・病院の2つの会計があります。

## 水道事業

## 閩水道局庶務課(☎0848-37-8701)

平成26年度の水道事業は、新市建設計画に計上され実施中の御調西部上水道拡張事業が最終年度を迎え、計画地区全体への給水が可能となりました。また、老朽化した配水池の整備改良を順次計画的に行うとともに、耐震管への布設替えを施工し、地震等の災害に強く安定した給水を実現する施設整備に努めました。

等により、前年度に比べ7億2,194万円の費用増となり、収支差引、1,308万3千円の純損失を計上することとなりました。

今後、給水収益の増加を期待することが難しい状況にあるため、これまで以上に経営の効率化・安定化を図りながら、安全で良質な水の安定供給に努めます。

収益的収支では、給水収益が増加したことに加え、受託管理収益の増加や会計制度改正に伴う長期前受金の収益化による営業外収益の増加のため、事業収益は、前年度に比べ6億2,760万8千円の増収となりました。一方、事業費用は、修繕費や手数料等の減少がありましたが、会計制度改正に伴う減価償却費の増加や引当金計上義務化による退職給付費の特別損失計上

貸借対照表 27.3.31現在 (単位:千円)

損益計算書 26.4.1~27.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	496,096	水道料金収入	3,490,434
物件費	1,133,928	受託工事収益	3,764
受水費	1,518,688	受託管理収益	781,935
支払利息	115,962	その他	398,930
その他	930,053	特別利益	4
特別損失	493,423		
当年度純利益	△13,083		
合計	4,675,067	合計	4,675,067

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	23,827,549	固定負債	5,493,017
無形固定資産	2,571	流動負債	1,574,023
流動資産	4,062,383	繰延収益	5,294,479
繰延勘定	3,129	資本金	11,643,906
		資本剰余金	632,799
		利益剰余金	3,257,408
		減債積立金	260,000
		建設改良積立金	860,000
		当年度未処分利益剰余金	2,137,408
		繰越利益剰余金	3,852
		その他未処分利益剰余金変動額	2,146,639
		当年度純利益	△13,083
合計	27,895,632	合計	27,895,632

## 病院事業

## 閩市民病院庶務課(☎0848-47-1155)

市民病院は高度・多様化する医療需要に対応するため、新たにレーザー光源内視鏡システムを導入するとともにデジタルガンカメラや脳波計等の各種医療機器を更新し、引き続き質の高い医療が提供できる環境を整備しました。また、災害への備えとして2カ年にわたり取り組んできました自家発電機の更新事業も完了しました。

市民病院、公立みつぎ総合病院とも、新たな会計制度の適用に伴う退職給付引当金の一括計上等により、大幅な損失を計上していますが、これまで同様、地域住民の医療ニーズ、介護や保健・福祉ニーズに応えるため、引き続き効率的な運営を図るとともに、健全経営に努め、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

瀬戸田診療所では、これまで同様に地域で求められる医療の提供に努めました。

貸借対照表 27.3.31現在 (単位:千円)

公立みつぎ総合病院は、地域包括ケアシステムの構築により、救急医療および疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・福祉までシームレスなサービス提供をしてきました。主な事業として、介護老人保健施設「みつぎの苑」の屋根改修工事を行いました。また、臨床用ポリグラフシステム装置や超音波画像診断装置など各種医療機器や検査機器の充実も図りました。

損益計算書 26.4.1~27.3.31 (単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	8,191,656	入院収益	7,587,587
物件費	2,268,993	外来収益	2,912,267
支払利息	103,489	その他医業収益	1,021,818
その他	3,456,938	その他	2,292,443
特別損失	4,492,086	特別利益	885
当年度純利益	△4,698,162		
合計	13,815,000	合計	13,815,000

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	14,227,193	固定負債	8,960,665
無形固定資産	1,970	流動負債	2,202,768
投資	138,063	繰延収益	1,409,634
流動資産	5,740,486	資本金	8,399,181
繰延勘定	391,666	資本剰余金	212,465
		利益剰余金	△685,335
		減債積立金	445,000
		建設改良積立金	100,000
		利益積立金	90,000
		その他積立金	0
		当年度未処分利益剰余金	△1,320,335
		繰越利益剰余金	2,414,634
		その他未処分利益剰余金変動額	963,193
		当年度純利益	△4,698,162
合計	20,499,378	合計	20,499,378



# 平成28年4月採用予定 尾道市職員採用候補者試験(募集)

試験職種	採用予定人数	受験資格
A.上級事務	5人程度	昭和63年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人
B.上級技術(土木)	1人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた人
C.上級技術(建築)	1人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた人
D.初級事務	1人程度	平成6年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
E.幼稚園教諭・保育士・保育教諭	3人程度	次のいずれにも該当する人 (1) 昭和63年4月2日以降に生まれた人 (2) 教育職員免許法による幼稚園教諭免許を有する人または平成28年3月31日までに免許取得見込みの人 (3) 児童福祉法による保育士の登録をした人または平成28年3月31日までに登録見込みの人
F.保健師	2人程度	昭和63年4月2日以降に生まれた人で、保健師助産師看護師法による保健師免許を有する人または平成27年度実施の国家試験で免許取得見込みの人
G.消防	5人程度	次のいずれにも該当する人 (1) 平成2年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人 (2) 尾道市に住居を有する人、または概ね1時間以内に尾道市消防局管内の最寄りの消防署所に到着できる地域内に居住できる人 (3) 消防業務に必要な体力を有する人

●「総合的選考(一能に秀でた人等)」による加点措置制度を取り入れています。

【受付期間】9月25日(金)までの8:30~17:15(土・日・祝日を除く)

※郵送の場合も含め、9月25日(金)17:15[必着]。

【試験日】第一次試験…10月18日(日)[場所:尾道市立大学]

※第二次試験は11月中旬、最終試験は12月上旬を予定しています。

【試験案内・申込書等の請求方法】受験に際しては、所定の申込書等が必要です。

直接受け取る場合	市役所職員課・総合案内、各支所など市機関の窓口で配布しています。 (8:30~17:15/土・日・祝日を除く)
郵送で請求する場合	送付用封筒の表に「(職種名)採用候補者試験用紙請求」と朱書きし、裏に請求者の「郵便番号、住所、名前」を明記のうえ、書類送付に係る郵送料として140円切手を貼った「宛先、郵便番号明記の返信用封筒(角形2号:縦33.2cm×横24cm)」を同封して請求してください。 【用紙請求先】〒722-8501 久保一丁目15-1 尾道市総務部職員課内 尾道市試験委員会
インターネットの場合	市ホームページにPDF形式で作成した試験案内・申込書等を掲載していますので、ダウンロードしてください。

●詳しくは「平成28年度採用 尾道市職員採用候補者試験案内」か市ホームページでご確認ください。

☎職員課(☎0848-38-9342) 🌐http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/

# 平成28年4月採用予定 公立大学法人尾道市立大学職員採用候補者試験(募集)

公立大学法人尾道市立大学の職員募集であり、採用者は地方公務員ではありません。

試験職種	採用予定人数	受験資格
A.大学事務	1人程度	昭和51年4月2日以降に生まれた人で、大学(短期大学は含みません。)を卒業した人または平成28年3月までに卒業見込みの人

●「総合的選考(一能に秀でた人等)」による加点措置制度を取り入れています。

【受付期間】9月28日(月)までの8:30~17:15(土・日・祝日を除く)

※郵送の場合も含め、9月28日(月)17:15[必着]。

【試験日】第一次試験…10月18日(日)[場所:尾道市立大学]

※第二次試験は11月中旬、最終試験は12月上旬を予定しています。

【試験案内・申込書等の請求方法】受験に際しては、所定の申込書等が必要です。

直接受け取る場合	尾道市立大学事務局総務課、市役所職員課・総合案内で配布しています。 (8:30~17:15/土・日・祝日を除く)
郵送で請求する場合	送付用封筒の表に「採用候補者試験用紙請求」と朱書きし、裏に請求者の「郵便番号、住所、名前」を明記のうえ、書類送付に係る郵送料として140円切手を貼った「宛先、郵便番号明記の返信用封筒(角形2号:縦33.2cm×横24cm)」を同封して請求してください。 【用紙請求先】〒722-8506 久山田町1600-2 尾道市立大学事務局総務課
インターネットの場合	尾道市立大学ホームページに試験案内・申込書等を掲載していますので、ダウンロードしてください。

●詳しくは「平成28年度採用 公立大学法人尾道市立大学職員採用候補者試験案内」か尾道市立大学ホームページでご確認ください。

☎尾道市立大学事務局総務課(☎0848-22-8311) 🌐http://www.onomichi-u.ac.jp/

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。

☎電話

📠ファクス

✉電子メール

🌐ホームページ

📄申込先

🗨️問い合わせ先